南九州 議会だより

第 22 号
平成25年5月20日発行

MINAMIKYUSHU CITY

川辺さくらウォーク

25年度当初予算総額330億102万円 …… 2
予算の審査から …… 4
24年度一般会計補正予算 …… 8
条例制定・改正 …… 10
一般質問13人が登壇 …… 12
臨時議会 …… 19
市民の声 …… 20

発行／鹿児島県南九州市議会　編集／議会広報編集委員会　TEL（0993）83-2511・FAX（0993）83-4658
発行責任者／議長　森田　隆志　ホームページ　http://www.city.minamikyushu.lg.jp

平成25年度 当初予算が成立

一般会計 205億6千万円

対前年度比 −1.3%

3月定例会

平成25年度3月定例会は、2月19日から3月21日までの31日間の会期で行われました。

平成24年度補正予算及び平成25年度当初予算などが審議され、議案47件、発議1件が可決されました。

各予算の主な内容

議会は、厳しい財政状況を踏まえ、第1次南九州市総合計画の第5期実施計画の実現に向けて、無駄のない効率的かつ効果的な予算となっているか慎重に審議しました。

一般会計

205億6000万円

歳入の自主財源については、市税や使用料などがわずかに減ったものの、繰入金や諸収入などの増により、1.1％の増となっています。

歳出の義務的経費については、扶助費が大きく伸びたことから、1.4％の増となっています。

物件費、補助費などのその他の経費については、一部事務組合負担金等の減により、2.7％の減となっています。

投資的経費については、国の緊急経済対策により平成25年度予算計画分が平成24年度補正予算で前倒しされたため、7％の減となっています。

国民健康保険事業特別会計

62億5700万円

歳入については、国民健康保険税が、前年度課税見込や今後の被保険者の推移等から推計した結果、4.5％の減となっています。

また、資金不足分として一般会計から繰入しています。

歳出については、被保険者は毎年300人程度減少しているが、医療費は微増傾向となっています。

後期高齢者医療特別会計

5億3240万円

歳入については、後期高齢者医療保険料が1.5％の増となっています。

歳出については、医療費の伸びが微増となっています。

介護保険事業特別会計

44億3300万円

要支援者及び要介護者数は増加傾向にあります。

簡易水道事業特別会計

4億9080万円

頴娃谷場簡易水道施設整備、頴娃熊ヶ谷飲料水施設配水管拡張及び川辺簡易水道老朽管更新事業などが主なものです。

水道事業特別会計

資本的支出1億4400万6千円は、建設改良事業と企業債の償還が主なものです。

〈一般会計〉 **歳　入**

（単位：千円）

区分		平成25年度 予算額	構成比(%)	平成24年度 予算額	構成比(%)	比較 増減額	伸率(%)
	市税	3,277,402	15.9	3,344,248	16.0	△66,846	△2.0
	分担金及び負担金	296,128	1.4	268,912	1.3	27,216	10.1
	使用料及び手数料	520,091	2.5	533,168	2.6	△13,077	△2.5
	財産収入	84,574	0.4	76,197	0.4	8,377	11.0
	寄付金	501	0.0	501	0.0	0	0.0
	繰入金	754,638	3.7	686,672	3.3	67,966	9.9
	繰越金	200,000	1.0	200,000	0.9	0	0.0
	諸収入	196,638	1.0	163,220	0.8	33,418	20.5
	（自主財源）	5,329,972	25.9	5,272,918	25.3	57,054	1.1
	地方譲与税	357,000	1.7	344,000	1.7	13,000	3.8
	利子割交付金	6,100	0.0	8,100	0.0	△2,000	△24.7
	配当割交付金	2,300	0.0	1,350	0.0	950	70.4
	株式等譲渡所得割交付金	800	0.0	500	0.0	300	60.0
	地方消費税交付金	338,000	1.7	358,000	1.7	△20,000	△5.6
	ゴルフ場利用税交付金	11,600	0.1	11,800	0.1	△200	△1.7
	自動車取得税交付金	62,300	0.3	46,000	0.2	16,300	35.4
	地方特例交付金	7,300	0.0	25,300	0.1	△18,000	△71.1
	地方交付税	8,634,000	42.0	8,805,000	42.3	△171,000	△1.9
	交通安全対策特別交付金	7,200	0.0	8,400	0.0	△1,200	△14.3
	国庫支出金	1,923,534	9.4	1,889,562	9.1	33,972	1.8
	県支出金	1,972,094	9.6	1,938,770	9.3	33,324	1.7
	市債	1,907,800	9.3	2,120,300	10.2	△212,500	△10.0
	（依存財源）	15,230,028	74.1	15,557,082	74.7	△327,054	△2.1
歳入合計		20,560,000	100.0	20,830,000	100.0	△270,000	△1.3

歳　出

（単位：千円）

性質＼区分		平成25年度 予算額	構成比(%)	平成24年度 予算額	構成比(%)	比較 増減額	伸率(%)
義務的経費	人件費	4,200,113	20.4	4,195,209	20.1	4,904	0.1
	扶助費	3,728,761	18.1	3,574,744	17.2	154,017	4.3
	公債費	2,353,074	11.5	2,367,169	11.4	△14,095	△0.6
	小計	10,281,948	50.0	10,137,122	48.7	144,826	1.4
その他の経費	物件費	2,656,083	12.9	2,673,607	12.8	△17,524	△0.7
	維持補修費	150,953	0.7	135,343	0.6	15,610	11.5
	補助費等	2,149,385	10.4	2,357,264	11.3	△207,879	△8.8
	積立金	115,427	0.6	115,613	0.6	△186	△0.2
	繰出金	2,397,343	11.7	2,391,147	11.5	6,196	0.3
	その他	10,820	0.1	11,240	0.1	△420	△3.7
	小計	7,480,011	36.4	7,684,214	36.9	△204,203	△2.7
投資的経費	普通建設事業費	2,793,541	13.6	3,006,880	14.4	△213,339	△7.1
	災害復旧費	4,500	0.0	1,784	0.0	2,716	152.2
	小計	2,798,041	13.6	3,008,664	14.4	△210,623	△7.0
合計		20,560,000	100.0	20,830,000	100.0	△270,000	△1.3

３月議会審議結果一覧

■市長提出議案

●３月定例会に提出された議案

議案番号	件名	議決の結果
諮問第１号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて（鶴田京子氏）	適　任
諮問第２号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて（浮邉泰祐氏）	適　任
議案第４号	権利の放棄について（土地代金の返還請求権762,000円）	可　決
議案第５号	権利の放棄について（田代工業団地水売払料39,180円）	可　決
議案第６号	市道路線の廃止について（道路台帳統合に伴う廃止）	可　決
議案第７号	市道路線の認定について（道路台帳統合に伴う認定）	可　決
議案第８号	南九州市長及び副市長の給与等に関する条例及び南九州市教育長の給与、勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第９号	南九州市消防団条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第10号	南九州市財産の交換、譲与、無償貸与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第11号	南九州市子ども医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第12号	南九州市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第13号	南九州市ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第14号	南九州市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議案第15号	南九州市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議案第16号	南九州市市道の構造の技術的基準等を定める条例の制定について	原案可決
議案第17号	南九州市市道に設ける道路標識の寸法等を定める条例の制定について	原案可決
議案第18号	南九州市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第19号	南九州市準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の制定について	原案可決
議案第20号	南九州市都市公園設置基準条例の制定について	原案可決
議案第21号	南九州市都市公園移動等円滑化基準条例の制定について	原案可決
議案第22号	南九州市都市下水路条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第23号	南九州市公共下水道の構造の技術上の基準等に関する条例の制定について	原案可決
議案第24号	南九州市農業経営基盤確立研修施設条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第25号	南九州市畑の郷水土利館条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第43号	南薩地区消防組合の解散に伴う事務の継承について	可　決
議案第44号	鹿児島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合の共同処理する事務の変更並びに同組合規約の変更について	可　決
議案第26号	平成24年度南九州市一般会計補正予算（第11号）	原案可決
議案第27号	平成24年度南九州市国民健康保険事業特別会計補正予算（第３号）	原案可決
議案第28号	平成24年度南九州市後期高齢者医療特別会計補正予算（第２号）	原案可決
議案第29号	平成24年度南九州市介護保険事業特別会計補正予算（第３号）	原案可決
議案第30号	平成24年度南九州市簡易水道事業特別会計補正予算（第３号）	原案可決
議案第31号	平成24年度南九州市農業集落排水事業特別会計補正予算（第３号）	原案可決
議案第32号	平成24年度南九州市公共下水道事業特別会計補正予算（第３号）	原案可決
議案第45号	平成24年度南九州市一般会計補正予算（第12号）	原案可決
議案第33号	南九州市みんなのまちづくり参加条例の制定について	原案可決
議案第34号	南九州市一般廃棄物最終処分場の設置及び管理に関する条例の制定について	原案可決
議案第35号	平成25年度南九州市一般会計予算	原案可決
議案第36号	平成25年度南九州市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決
議案第37号	平成25年度南九州市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第38号	平成25年度南九州市介護保険事業特別会計予算	原案可決
議案第39号	平成25年度南九州市簡易水道事業特別会計予算	原案可決
議案第40号	平成25年度南九州市農業集落排水事業特別会計予算	原案可決
議案第41号	平成25年度南九州市公共下水道事業特別会計予算	原案可決
議案第42号	平成25年度南九州市水道事業会計予算	原案可決
議案第46号	南九州市報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第47号	南九州市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決

■議員提出議案

発議第１号	環太平洋戦略的経済連携協定（ＴＰＰ）交渉への参加に反対する意見書の提出について	原案可決

協働と自立による住民主役のまちづくり

◆総務常任委員会◆

市民の安心安全を守る取り組み

●防犯関係対策費

安全で安心なまちづくり推進協議会の開催に係る経費、防犯思想などの啓発に当たる各種機関の活動の一部助成及び知覧中学校通学路照明灯の修繕料などである。

～委員から～

中学校通学路の照明については、市内全中学校において統一された措置を検討するようとの意見が出された。

の審査から P4～P6

知覧中学校通学路照明灯

移住・定住促進に向けた取り組み

●移住定住促進対策事業費

市内への定住と市外からの移住を促進し、地域活性化を図るための移住定住ガイドブック作成に係る委託料、移住定住に伴う住宅取得補助、未婚者出会いの場応援のための補助が主なものである。

●財産管理費

公有財産及び賃貸借財産などの維持管理に要する経費で、旧頴娃学校給食センター解体工事や跡地の駐車場整備工事などである。

～審査の中で～

問 駐車場の用途は。

答 頴娃中央温泉の利用者のほか、頴娃運動公園等で実施されるイベント時の利用を想定している。

●平和会館管理費（一般経費）

平和会館の管理運営に係る修繕料、委託料及び公有財産購入費などである。

～審査の中で～

問 公有財産購入は。

答 三角兵舎及び掩体壕（えんたいごう）の跡地を取得し、平和教育推進のために施設の復元を図りたい。

●お茶街道ゆとり館管理費

指定管理料、屋根及び外壁などの改修並びにフェンス設置に係る工事費などである。

～委員から～

指定管理者には協定書の仕様に基づき適切に管理するよう指導すること。市と管理者の責任を明確にすること。

また、フェンス設置に係る工事請負費の執行にあたっては内容を精査するようとの意見が出された。

●消防団員費

消防団員の報酬、費用弁償などである。

～審査の中で～

問 各方面隊ごとに訓練が異なっているが、対応は。

答 防災計画に沿って、各消防団に訓練内容の統一を働きかけたい。

～委員から～

各方面隊と連携を取りながら等しく技術の習熟が図られる訓練計画の作成を働きかけるようとの意見が出された。

大丸分団拠点施設予定地

●消防施設費

大丸分団の消防団拠点施設の地質調査及び実施設計委託料並びに粟ヶ窪分団消防車庫新築工事に係る工事費などである。

～審査の中で～

問 大丸分団拠点施設の車庫の仕様は。

答 再編が検討されている牧之田班と中福良班との間に設けることから、積載車2台、もしくは、ポンプ車を格納できる仕様を考えている。

一般会計の予算

心の豊かさと創造力を育む教育・文化のまちづくり

◆文教厚生常任委員会◆

自立支援雇用施設（茶楽里）

福祉の充実

●障害者自立支援給付事業

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づき、障害者などが必要とするサービス利用などの支援を行う経費である。

～審査の中で～

問 障害者自立支援給付事業の扶助費が24年度当初と比較し約1億2千万円増額となった理由は。

答 24年4月からの法令改正により、報酬額が2％引き上げられたことと県がこれまで給付していた施設が、市に移行されたことが主な要因である。

衛生費

●環境保全公害対策費

住民からの情報提供や公害防止に伴う水質、悪臭などの検査を実施する経費などである。

～審査の中で～

問 川辺地域の野間地区住民から悪臭が酷くて窓も開けられないと聞くが、25年度予算に調査費用が計上されているか。

答 地区内にでんぷん工場があることから、河川の下流3カ所において、年4回水質検査を行い監視しているが、各年度の数値にそれほど変化はない。悪臭についても、市民生活に影響を及ぼすようであれば、定期的に調査を実施し監視する。

教育施設の充実

●教育施設整備事業費

頴娃幼稚園は、耐力度調査を実施した結果、所定の耐力度に達していないことが判明したことから園舎改築工事に係る設計業務委託費である。

～審査の中で～

問 園舎の耐力度調査の結果が所定の耐力度に達しなかった理由は。

答 頴娃幼稚園は昭和49年に建築され38年が経過している。建築当初は当時の建築基準法に従った構造計算により建築されたが、経年劣化及びひび割れからの雨漏りにより耐力度に達しなかった。新園舎については、国の学校施設環境改善交付金事業を要望しており、26年度に新園舎を建築する計画である。

●文化会館管理費

地域の生涯学習や文化振興の拠点である頴娃、知覧及び川辺文化会館の維持管理に要する経費である。

～審査の中で～

問 3文化会館のうち知覧文化会館のみに工事請負費が計上されているが。

答 3文化会館とも経年劣化により修繕が必要と思われる箇所が多くみられるが、総合計画により建築年度の古いものから年次的に大規模修繕を行うとしている。

25年度は知覧文化会館の耐震補強及び外壁改修を行う。

知覧文化会館外壁

●ミュージアム知覧管理費

歴史及び文化財の保存継承を図るための経費である。

～審査の中で～

問 委託料が24年度当初と比較し約1千万円増額となっているが。

答 シアターの映像機器は、開館以来20年使用し、13台の機械により35ミリフィルムで放映しているが昨年の11月に本体の基盤が故障し、今回すべてのシステムを更新することが主な要因である。

安心・安全な食の提供と未来を支える農業のまちづくり

◆産業建設常任委員会◆

農業開発センター（頴娃）

農林水産業の振興

●農業人材育成事業費

本市農業を担う人材の育成、確保を図るため後継者、新規参入者に対し農業後継者育成確保奨励金及び青年就農給付金を支給するものである。

～審査の中で～

問 青年就農給付金の認定見込みは。

答 対象者10名のうち、1名は24年からの継続で残り9名のうち7名はほぼ決定となっている。後の2名についても認定に向け働きかけたい。

●茶流通拠点施設整備事業

拠点施設構想並びに整備に係る協議会経費や計画書作成の委託料である。

～審査の中で～

問 事業の概要と建設の見通しは。

答 協議会については3年間設置することとし、24年度において流通を含めた茶業振興の基本計画を作成しており、2年目はその基本計画に基づく取り組みを行い施設の事業主体や設置場所、規模などを検討し、3年目は施設の具体的な内容を検討していく。施設建設については準備期間を設け28年を目途に着手したい。

問 整備される施設の具体的な内容は。

答 仕上げや加工施設、冷凍冷蔵庫、集出荷施設が主なものであるが、出品茶工場も併設したい。

土木費

●市道単独整備事業費

春向谷場線ほか15路線の整備に要する経費である。

～委員から～

市道大川港線の舗装整備が計上されているが、パワースポットとして脚光を浴びている釜蓋神社への観光客も多いことから補助事業などを活用し、駐車場や案内板など周辺整備を含め総合的な整備を進めるようとの意見が出された。

導線にもなることから、商工観光課とも連携し名称の再考を含め案内板などの設置により観光客が気軽に足を運べるような方策を検討するようとの意見が出された。

●社会資本整備総合交付金事業

石垣団地及びふもと尾鉢団地の3点給湯設備工事に要する経費である。

～委員から～

住宅団地間における不均衡をなくすため、シロアリ駆除などを含め、維持補修に努め、安心で快適に居住できる住環境を確保するようとの意見が出された。

●リバーフロント整備事業費

県が施行する二級河川麓川の護岸整備に伴う経費で土地鑑定委託料、公有財産購入費が主なものである。

～委員から～

リバーフロント整備箇所は武家屋敷群と一体となった潤いとやすらぎの空間と思うが、ふもと橋入口は観光客が入りにくい環境と感じる。富屋旅館や知覧人形博物館への

リバーフロント整備予定地（人形館裏）

畜産業振興費

●資源リサイクル畜産環境整備事業

県地域振興公社が事業主体となり、家畜排泄物のリサイクルシステムを構築するための堆肥運搬車、保管庫、堆肥施設などに係る農家負担金で、整備後参加農家へ譲渡するものである。

特別会計の主な事業内容

国民健康保険事業は恒常的な赤字財政
一人一人が医療費削減に努力を!!

平成25年度 当初予算　特別会計・企業会計

区分			H25予算額(千円)	H24予算額(千円)	増減額(千円)	増減率(%)
特別会計	国民健康保険事業		6,257,000	6,559,000	△ 302,000	△ 4.6
	後期高齢者医療		532,400	526,600	5,800	1.1
	介護保険事業		4,433,000	4,408,000	25,000	0.5
	簡易水道事業		490,800	526,600	△ 35,800	△ 6.7
	農業集落排水事業		75,700	76,100	△ 400	△ 0.5
	公共下水道事業		179,400	195,400	△ 16,000	△ 8.1
企業会計	水道事業	(収益的支出)	328,721	309,962	18,759	6.0
		(資本的支出)	144,006	149,727	△ 5,721	△ 3.8
総額			12,441,027	12,751,389	△ 310,362	△ 2.4

国民健康保険事業

●**一般被保険者療養給付費**
33億5688万5千円
医療費のうち自己負担額を除いた額を国保連合会を通じて保険医療機関に支払う給付費である。

●**一般被保険者高額療養費**
5億2498万6千円
医療費の自己負担額のうち、自己負担限度額を超える額を支給するものである。

※国民健康保険事業特別会計へ、一般会計から本年度も1億1287万2千円を補填します。

後期高齢者医療

●**後期高齢者医療広域連合納付金**
5億2859万7千円
後期高齢者医療被保険者から納付される保険料と保険基盤安定負担金を県広域連合に納める納付金である。

介護保険事業

●**居宅介護サービス給付費**
12億4200万円
居宅介護サービス利用料の保険者負担分である9割を国保連合会へ支払うものである。

●**地域密着型介護サービス給付費**
4億2000万円
地域密着型介護サービス利用料の保険者負担分の9割を国保連合会へ支払うものである。

●**施設介護サービス給付費**
18億円
施設介護サービス利用料の保険者負担分の9割を国保連合会へ支払うものである。

簡易水道事業

●**施設管理費(一般経費)**
7722万5千円
簡易水道水を安定的に供給するため各施設の維持管理に要する経費である。

●**建設改良費**
2億2063万円
安定的な給水に必要な改良工事などの経費である。

農業集落排水事業

●**知覧垂水維持管理費**
283万4千円
知覧垂水浄化センターの維持管理費などである。

●**川辺東部維持管理費**
814万2千円
川辺東部農業集落排水処理場の維持管理費などである。

公共下水道事業

●**浄化センター維持管理費**
2016万7千円
知覧中央浄化センターの維持管理委託料などである。

●**管渠及び排水設備維持管理費**
1120万2千円
公共下水道区域の管渠及びマンホールポンプの維持管理委託料などである。

水道事業

●**原水及び浄水費**
5766万5千円
取水、浄水、送水などの維持に係る経費である。

●**配水及び給水費**
3724万5千円
配水池、配水管、中継ポンプなどの維持管理費である。

業費など1億9,550万円追加
総額 221億7,614万7千円

市道単独整備事業費や私立保育所等運営費などを減額し、市道補助整備事業費や広域消防組合費などの増額補正が主なものです。

総務費

●移住定住促進対策事業費　700万円

移住定住促進補助金12件分を増額するものである。

消防費

●広域消防組合費　2億2757万2千円

指宿地区消防組合の庁舎建設の財源を組合債から構成市負担金としたこと、南薩地区消防組合解散に伴う起債の繰上償還に係る負担金である。

頴娃分遣所

民生費

●えい中央温泉センター管理費　291万6千円

燃料費及び光熱水費に不足が生じるため増額するものである。

●私立保育所等運営費　△4439万8千円

運営負担金支払実績見込みに伴い、執行残が見込まれるため減額するものである。

衛生費

●国民健康保険事業特別会計繰出金　1億4606万7千円

国民健康保険事業特別会計不足見込みによる補正である。

農林水産業費

●担い手育成対策事業費　1354万5千円

国の補正予算に経営体育成支援事業が計上されたことから、経営体が直面している課題に支援する負担金である。

●社会資本整備総合交付金（地域住宅支援）事業費　1億1377万3千円

国の補正予算により、交付金事業の一部が前倒しされたことから、諏訪下団地公営住宅新築工事及び石垣団地公営住宅改修に伴う工事請負費などである。

整備される下郡堂園線

土木費

●市道補助整備事業費　1億3253万6千円

国の追加補正に伴い、増額するものである。

●市道単独整備事業費　△3070万4千円

事業執行に伴う組替え及び不用見込額を減額するものである。

24年度 3月補正

市道補助整備事 一般会計 予算

教育費

●学校施設環境改善交付金事業

（青戸小学校屋外運動場）
4038万円
風雨により劣化が著しく学校活動に支障があるため改修する工事請負費である。

（川辺小学校）
165万3千円
西側校舎の耐震補強工事に要する工事請負費などである。

青戸小学校屋外運動場

特別会計

国民健康保険事業

●後期高齢者支援金
△6136万1千円
後期高齢者支援金拠出金の決定に伴い減額するものである。

●保険財政共同安定化事業拠出金
△7991万6千円
保険財政共同安定化事業拠出金の決定に伴い減額するものである。

●国庫支出金返還金
9611万5千円
平成23年度療養給付費国庫負担金実績報告による返還金である。

後期高齢者医療

●後期高齢者医療広域連合納付金
△592万6千円
後期高齢者医療保険基盤安定負担金の決定に伴い減額するものである。

介護保険事業

●居宅介護サービス給付費
6100万円
居宅介護サービスの増加により予算額に不足が生じる見込みのため増額するものである。

●施設介護サービス給付費
△5500万円
施設介護サービス利用が当初見込みより少なく予算額に不用が見込まれることから減額するものである。

簡易水道事業

●建設改良費
2093万7千円
国の緊急経済対策による補助事業費の増額に伴い、谷場簡易水道（嶽地区）施設整備事業の工事請負費などである。

嶽地区配水池

人事案件

◆人権擁護委員◆

任期は、市が議会の意見を求め法務大臣に推薦し法務大臣が委嘱した日から3年間です。
※平成25年7月1日から平成28年6月30日まで

鶴田　京子　氏
頴娃町　御領

浮邉　泰祐　氏
頴娃町　別府

条例の制定・改正

石垣ごみ処分場

一般廃棄物最終処分場の設置

南九州市一般廃棄物最終処分場の設置及び管理に関する条例の制定

南九州市石垣ごみ処分場の適正な管理を行うため、この条例を制定します。

名　　称　南九州市石垣ごみ処分場
位　　置　南九州市頴娃町別府3615番１
対象品目　瓦・ブロック・石・コンクリートなど

みんなのまちづくり参加条例

南九州市みんなのまちづくり参加条例の制定

本条例は、市民と市の協働による活力に満ちたまちづくりの推進を目的に、第１次総合計画、基本計画の「協働と自立による住民主役の個性的なまちづくり」の施策として設置された市民参画条例検討会の提言を受け、市民参加に関する基本的事項を定め、すべての市民がまちづくりに参加する権利を有することを改めて認識し、市民一人ひとりがその権利を行使することができるよう制定します。

市民参画条例検討会

議員発議

環太平洋戦略的経済連携協定（ＴＰＰ）交渉への参加に反対する意見書・・・【可決】

●提出理由

安倍首相は、環太平洋戦略的経済連携協定（ＴＰＰ）交渉への参加を正式表明した。

ＴＰＰは原則例外なき関税撤廃を前提としており、国民の命と健康を守る医療制度や食の安全・安心の基準等についての改悪を余儀なくされ、また、海外から国内への安い農林水産物の大量流入により、本市においても、米やさつまいも、お茶、牛肉などの農畜産物や関連産業まで含め、壊滅的な影響を受けることから、ＴＰＰ交渉に参加しないよう国に対し働きかけるための意見書を提出するものである。

●提出先

衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか６大臣

ＴＰＰ反対看板

議会活性化調査特別委員会

議会基本条例の制定を目指し小委員会で先進地研修を行いました。

●小委員会委員長報告

地方分権改革等により地方公共団体の自己決定・自己責任が拡大され、あわせて議会の役割も従来以上に重要となっている中、議会基本条例を制定し、より住民に開かれた議会となるための議会報告会、執行機関と切磋琢磨するための反問権の付与及び議員間討議の３つの要素について方針を明記し、条例に基づく実践によって地域経営を担っていこうとする動きがここ数年広がりつつある。

本市議会としても市民への報告会、反問権、議員間討議については、方針を明確にする必要があり、これを会議規則や委員会条例の上位に位置する規範としての議会基本条例に明文化し、実践することで議会活性化の姿勢を市民に示すべきである。

●小委員会の委員の交代

伊瀬知正人議員から、西次雄議員に交代しました。

姶良市での研修

権利の放棄について

●旧二枚貝栽培センター事業用地

平成24年度に市が誘致企業に売却した土地において、平成９年に旧頴娃町が購入した土地の登記名義人が海外在住で町へ名義変更されていなかった。今回の誘致企業への売却にあたり登記名義人の相続人から権利を主張され、土地購入費を支払うこととしたが、当時、相続人を探すことは困難で、名義変更ができなかったため、旧町が代金を支払った所有者に瑕疵があるとは認められず、土地代金の返還を求めないこととした。

●田代工業団地水売払料

債務者が農業用に使用した田代工業団地の水道使用にかかる未収入金を債務者相続人の相続放棄により、債務回収の見込みがないことから権利を放棄するもの。

が聞きたい！

13人が登壇 いっぱん質問

東　兼喜　議員

西　次雄　議員

学校管理

運動場の改修状況と計画は

教育長／交付金事業を活用し計画的に進める

東　小中学校の屋外運動場改修状況は。

教育長　改修については多額な財源が伴うので、合併後は計画的に進めており、頴娃小、川辺小、青戸中、頴娃中が終わり、合併前に整備された学校を含めて小中学校全体では6割程度が整備済みと考えているが、今後も計画的に改修を進めたい。

東　今後の具体的な実施計画は。

教育長　総合計画に基づき、未整備校については、現状を実態調査し、学校施設改善交付金事業の活用を踏まえ、財政計画を勘案しながら実施していく。

東　夏場、敷地内に雑草が多く見られる学校の対応は。

教育長　基本的には学校長の指導のもと、学校主事、教職員、児童生徒による校内作業などで管理するが、危険を伴う専門的な技術を要する作業については、樹木伐採など委託料を学校予算として配当し、学校の環境整備を行っている。

管理の行き届いた小学校

救急救助

近隣市と応援協定を

市長／早急に枕崎市、南さつま市にお願いに行く予定

西　4月から指宿南九州消防組合が発足し、南九州市に救助資機材が整備されるが、現人員体制での救助活動に不安の声を聞く。近隣市と救急救助について応援協定を結

市政のここ

配備された救助資機材（一部）

ぶ考えはないか。また、医師会とどのように連携を図る考えか。

市長　救助資機材を広域化までに購入し、川辺分遣所に配備することで準備を進めている。平成25年度に更新予定の消防タンク車に救助資機材を積み込み、救助活動を行っていく。近隣市との救急救助については、現在、事務局で協定内容の検討を行っており、内容が固まり次第早急に枕崎市、南さつま市にお願いに行く予定にしている。

医師会との連携についても、現在の救急医療体制を堅持していただくとともに、指示病院についても引き続き協力をお願いしたいと考えており、協議会事務局で、その準備を進めている。

その他の質問

・学校給食

情報通信　SNSを使った地域情報の発信を

市長／ホームページとの連携を検討

蔵元　慎一　議員

蔵元　行政情報や地域の行事、ニュースなどをより多くの人にスピーディーに伝えるため、フェイスブックやツイッターなどのSNS※1を利用していく考えはないか。

市長　現在、商工観光課がフェイスブックを使って、観光情報や地域の話題を提供している。携わる職員の体制や情報の決裁など課題が出てくるが、市のホームページと連携する手段として活用できないか検討していきたい。

Wi-Fiスポット※2の整備は

市長／整備事業を要望

蔵元　スマートフォンやタブレット端末の普及が急速に進んでいるが、観光スポットや公共施設に無線LAN、Wi-Fiスポットを整備していく考えはないか。

市長　平成25年度地域振興事業により、市内の主要な観光地に「観光地ワイファイスポット整備事業」を要望している。県内では初めてとなる先進的な事例として事業実施の可能性が高く、期待をしている。

Wi-Fiスポットとなる予定の平和会館前

その他の質問

・高等学校の活性化支援

※1　SNSとは、インターネット上を利用し、人と人とのコミュニケーションや情報の交換等を構築する場を提供しているサービスのこと。

※2　Wi-Fiとは、インターネットが、どこでも繋がるようになる無線LAN機器のこと。

消防行政

消防車の統一的な配置を

市長／実情にあった配置を検討

峯苫　勝範　議員

峯苫　各方面隊の団員や消防車輌などの配置に差異があるが、統一的な配置に改める考えはないか。

市長　消防団の意見を充分聞きながら、地域の実情に合った配置の検討を行っていきたい。

分団・班の統廃合は

市長／地域に合った再編を

峯苫　平成23年度松山分団の5班を廃止し松山分団1組織としたが、今後も統廃合を進める考えか。なお、不用となった備品を活用する考えは。

市長　平成23年度消防団員定数などの見直しを含め再編を行った。しかし、各方面隊ごとに長い年月をかけて組織された消防分団であることから調整が簡単にできない。今後は、拠点施設や消防車輌などの更新時に、地域に合った再編に向け検討する。不用となった備品は、配置換えするか、希望があれば自主防災組織に活用してもらうよう検討する。

新築された川辺中央分団拠点施設

各方面隊の消防車輌等の配置状況

	頴娃	知覧	川辺
分団数	10	7	6
総団員	186	199	208
ポンプ車	9	8	6
小型ポンプ	2	7	16

財政計画

人件費の削減方策は

市長／組織のスリム化などで

満留　秀昭　議員

満留　人件費を年次的に削減しようとしているが、具体的にはどのような方策で削減する考えか。

市長　平成29年4月1日の職員数を414人とする計画である。具体的には、

①人材育成で組織力の向上を図る
②全事業総点検の実施
③組織機構の見直しでスリム化を図る
④積極的な民間活力の活用を図る

などに取り組むこととしている。

満留　給与引き下げや退職給与の支給月の引き下げなど必要であると考えるが見解を問う。

市長　類似団体の動きや職員組合との兼ね合いなど、その方向で慎重に取り組みたい。

満留　今後、地方債を充当する主な事業は。

市長　主な事業としては、学校教育施設等整備事業、市道整備事業、消防施設整備事業のほか、公営住宅団地整備事業などを計画している。

定員適正化の目標

定員適正化の目標については，毎年度の退職予定者や一部事務組合等への派遣職員数を考慮するとともに，一部事務組合等からの派遣解除と新規採用職員数を含めた毎年度の職員増を基本的に５人とした試算を基に平成29年４月１日の職員数を414人とし，平成24年４月１日の職員数より36人の削減，また現行の定員適正化計画より16人の削減を目指します。

平成24年４月１日の職員数	a	450人
平成29年４月１日の職員数（現行）	b	430人
平成29年４月１日の職員数（第２次）	c	414人
削減職員数	c－a	▲36人
削減職員数	c－b	▲16人

運動施設

ドームを整備する考えは

市長／慎重に検討したい

吉永　賢三　議員

吉永　市民はドーム付き多目的広場の整備を待望していると考えるが、頴娃運動公園、知覧平和公園及び諏訪運動公園内の比較的利用状況の少ない既存の広場などを活用し、整備する考えはないか。

市長　旧町時代にも要望があり、基本計画や概算の試算がなされ、多額の建設費が必要となることから断念した経緯もあり、現在は建設の考えはない。

吉永　25年度の施政方針の中で、市民の健康増進に努め、多くの市民が、楽しく気軽に参加できるスポーツ大会を目指し、スポーツ交流を通じて南九州市の一体化を図るとあるが、ドーム付き多目的広場の整備を検討する考えはないか。

市長　現在進めている管理型最終処分場建設や、小中学校の耐震整備、橋梁の長寿命化対策や南薩畑地かんがい施設の更新事業など、大規模なハード事業も推進しなければならないことから、慎重に検討したい。

知覧平和公園ゲートボール場

その他の質問

・小水力発電

商工業

地域商業再生事業の取り組みは

市長／補助事業を創設している

松久保　正毅　議員

松久保　人口減少や高齢化社会の到来と併せ、大型店舗などの進出により、小売店の販売額は年々減少している。市長は空き店舗対策、資金借入の利子補給などを掲げているが、地域商業再生事業にどのように取り組む考えか。

市長　商工振興補助金は減額することなく予算措置している。振興資金利子補給事業は、全ての申請に対応している。昨年、商店街活性化対策事業補助金を創設し、環境整備を実施している。

耕作放棄地の解消は市長／解消に努めたいと考える

松久保　耕作放棄地の中には大型重機などで造成しないと利用できない放棄地も存在する。農家で対応できないため、農業開発公社を設立する考えはないか。

市長　公社設立には多大な財政支出が必要になる。既存の補助事業を有効に活用し、大型重機などを保有する頴娃土地改良区や建設業者などに業務委託して解消に努めたいと考える。

知覧まち商店街

財政

給与の削減は

市長／要請に基づいた対応を

塗木　弘幸　議員

塗木　国は復興財源を確保するために国家公務員給与を2年間臨時特例的に7.8％引き下げ、地方公務員給与が国より高給となったことから、給与引き下げを前提に地方交付税を3900億円削減しているが、本市の対応を問う。

市長　国や県から必要な措置を講じるよう要請があったことを受け、25年度に限り、異例の措置として、要請に基づいた対応を取って行かざるを得ないと考える。

行財政改革を問う

市長／経費削減に努める

塗木　中期財政計画によると、平成34年度には地方交付税は20億円の減、歳入合計では27億円の減額となっている。厳しい財政状況が見込まれるなか、どのような財政改革を行う考えか。

市長　人口の減少による市税の減収や一本算定に伴う地方交付税の減額により、市の財政運営は大変厳しい状況が予想される。公的施設のあり方や運営方法の検討を行い、経常経費の削減を図る。また、義務的経費の40％を占める人件費については、県内の類似団体を参考に抑制を図っていきたい。

厳しい状況が予想される今後の財政計画

生活保護

保護費引き下げによる影響は

市長／まだ示せない

内園　知恵子　議員

内園　政府は、生活保護の引き下げを今年の8月から3年かけて行うと言っている。現在受給している96％の世帯が減額され、とりわけ子育て世帯が大打撃を受けるとのことだが、本市の生活保護世帯に及ぼす影響は。

市長　平成25年度の生活扶助費の基準額がまだ示されていない今の時点で、生活保護費の停止・廃止を含め、本市の生活保護世帯への影響は示せない。

緊急通報システムについて

市長／検討していく

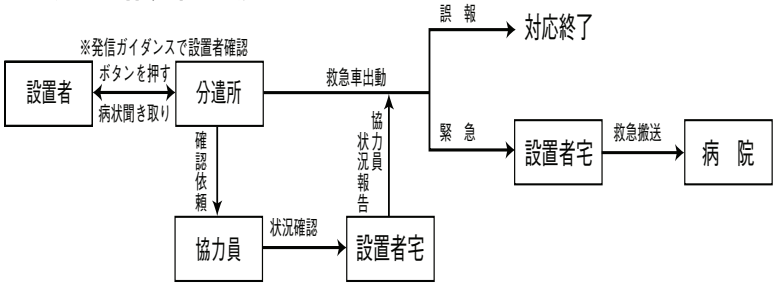
内園　緊急通報システムの給付を希望する場合、3人以上の協力者が必要となっているが緩和する考えはないか。また、旧三町ごとのこれまでの利用状況を示せ。

市長　本市でも過疎化が進み、近隣世帯も少なくなっている集落もあり、協力員3人以上の承諾は困難な利用希望者も予想される。関係機関の意向も聞きながら検討していく。利用状況は頴娃地域4件、知覧地域20件、川辺地域11件。

その他の質問

・学校管理
・γ（ガンマ）線放射線測定器

●緊急通報装置の流れ



●装置

親　機	手元緊急ボタン	ペンダント型送信機

畜産振興

飼料高騰の支援策は

市長／国の支援制度を推進していく

菊永　忠行　議員

菊永　飼料の高騰が畜産の経営を圧迫しているが、その支援策を問う。

市長　国が実施する配合飼料価格安定制度の通常補填・異常補填により農家への支援が実施され、今回、特別措置の農林漁業セーフティネット資金の有効活用を推進していく。また、飼料自給率の向上に向けた取り組みが重要であることから、自給飼料の生産・利用拡大に努めていく。

菊永　原子力発電の稼働停止による計画停電や自然災害による停電が発生した場合に、非常用電源機材の借り上げや購入に対し補助する考えは。

市長　九州電力からの計画停電の方針や台風などの災害による停電に備えた管理体制について、市のガイドラインを作成している。なお、ブロイラー農家などを対象とした自家発電機導入の基盤強化に対して、補助金を25年度予算計上している。

畜舎に設置されている自家発電機

人員配置

各庁舎のバランスは

市長／サービス低下を招かないよう配慮

蓮子　幹夫　議員

蓮子　各庁舎間における職員数に差が見られ、特に頴娃庁舎は知覧庁舎と比較すると約半数となっている。業務推進や災害時の対応などに支障をきたすと考えられるが、住民への説明責任をどう果たす考えか。

市長　それぞれの庁舎を総合支所とし、市民生活に影響が生じやすい部門にはサービスの低下を招かないよう配慮している。災害については各対策部を編成して対応していく。行政組織機構の再編内容については、種々の方法で情報提供を行う。より経費が多額になるが、経費削減のためにも指定管理者制度を導入する考えはないか。

市長　市内5カ所のうち、市が管理する温泉施設については、えい中央温泉センターのみが直営である。25年及び26年度で電気料が、どの程度の額か算定し、指定管理者制度の導入を前向きに進めたい。

えい中央温泉を指定管理へ

市長／前向きに進めたい

蓮子　液化天然ガスによる発電システムを廃止し、電気購入することに

頴娃庁舎内

道路整備

里道整備について

市長／必要な復旧は市で対応

亀甲　俊博　議員

亀甲　幹線道路以外の道路をどのように整備する考えか。

市長　里道は、原則として地域管理者が管理を行うものとしているが、安全対策上必要な災害復旧などは市で対応する。

財政課長　利用する方が不特定多数であり、市道と似たような機能を果たしている場合は、総合的に判断した上で必要があれば市で整備する。

建設部長　里道の中には確かに不特定の方が通行し、市道と同じような機能を有している里道もある。現場を確認して今後検討したい。

交通量の多い集落内の里道

救急医療体制について

市長／体制維持に努めたい

亀甲　現在の初期救急医療体制は十分だと考えるか。

市長　医師会や関係市の協力をいただき、体制維持に努めたい。

健康増進課長　現在の救急医療体制は医師会の中で話し合われた結果で運営されているので、充足されていると認識している。

亀甲　ロタウイルスの予防接種をすると発症が抑制される可能性があるが助成する考えはないか。

健康増進課長　今後検討したい。

銘柄統一

統一に向けた方策は

市長／統一準備委員会で協議

竹迫　毅　議員

竹迫　茶業の活性化、振興を目的に合併以来の懸案であった銘柄統一の方向性が出たところであるが、統一に向けた方策展開は。

　また、ＪＡ南さつまとＪＡいぶすきとの対応は。

市長　銘柄統一は総合計画の中でも重点課題と位置づけている。３月の本市茶業振興会総代会で、統一銘柄を「知覧茶」とする方向であり、茶業関係者や両ＪＡも構成員として茶業振興会で統一準備委員会を設置し、協議することとしている。

部分的未整備箇所の対応は

市長／解決に向け検討

竹迫　幹線市道の整備は急務と考える。改良箇所の部分的未整備箇所数と今後、整備をどのように進める考えか。

市長　現在の整備路線を含め８カ所ある。未整備区間の整備は出来るだけ早く整備する必要があると考える。今後も用地取得に粘り強く交渉を続けていきたい。

　交渉を休止している所も、その後の状況変化も考えられるので、課題を分析し解決に向けて検討していきたい。

新茶祈願祭（いい茶ができますように！）

臨時議会補正予算

●平成25年1月22日及び23日

市の茶業振興及び銘柄統一に向け農業施設管理費1218万8千円を補正しました。

◆提案理由◆

農林水産部茶業課を南九州市知覧農業振興センター内に設置するために要する経費

配置するもので、内訳は建築改修工事、空調等電気工事、トイレなどの給排水工事である。

繰越明許については、年度内完成を目指すが万一に備えるものである。

議案質疑

問 茶業課が知覧農業振興センターに移設されるが、合併当初の方針と異なり頴娃支所の職員が減少することから茶業課を頴娃支所に残したままで茶業振興は図れないか。また、南部出張所に茶業課を置くことは考えなかったか。

答 茶業課を知覧農業振興センターに配置することは、茶業振興会の要望に基づくもので、知覧農業振興センターが最適と判断し、また、南部出張所は事務所が手狭まで、駐車場も狭いことから候補地として選定していなかった。

問 各支所の職員数は何名となっているか。

答 頴娃支所107名、知覧支所181名、川辺支所162名である。

問 全員協議会では一部の壁を取り壊すのみとの説明であったが、農業施設管理費の工事請負費の内容は。また、予算を初めから繰越明許とした理由は。

答 工事の内容は、事務所の壁を取り除き10名分の机と書棚を

知覧農業振興センター

●平成25年1月31日

平成25年4月1日の指宿南九州消防組合設立に向けた準備経費について補正

消防費

●広域消防組合費 5万5千円

消防無線変更・事務用パソコンのネットワーク構築費、看板、車輌の名称書換・救助資機材購入経費などである。

指宿地区消防組合
第2号補正南九州市分 △774万9千円
第3号補正南九州市分 780万4千円

●消防施設費（一般経費） 49万6千円

消防団知覧方面隊の消防無線周波数変更に伴う備品購入費である。

議案質疑

問 指宿地区消防組合第2号補正内容と負担割合は。

答 第2号補正の内容は、職員の退職に伴う人件費の不要額と消防無線デジタル化に向けた実施設計が24年度から25年度に変更したことにより減額するもの。

第3号補正の内容と負担割合は、総務管理費（一般管理費）のうち南九州市が採用している職員にかかる共済費105万9千円が南九州市の負担となっている。また、一般管理費と消防施設費の総額1379万3千円が移行準備経費で、指宿市51％、南九州市49％で、24年度規準財政需用額割が基本となっている。

市民の声

地域福祉の充実を

知覧町　厚地
丸野　吾一

知覧庁舎より西へ1キロほど行き300メートル級の山々に囲まれた盆地が厚地地区です。山裾に沿って4キロほどに190戸の人家があります。米とでん粉用甘藷などを生産する兼業農家の多い地域です。一軒の商店もなく一台の自動販売機もないところで、平成19年10月に地区公民館独自で閉鎖した農協支所の建物を借り受けて生活用品や食品等を販売する店を開店しました。名称は地域の皆さんに公募し「あつちの店」としました。

一番喜んでくれた方は自分で車を運転できない年配者で、これまでは片道700円のタクシーを利用して近くの町へ買い物に行っておりました。

店番は公民館の女性事務員がすることになりました。開店当初は経費を公民館と店で折半していましたが、6対4で営業できるまでになりました。

しかし時代は変わりました。店の経営不振で人件費が捻出できなくなり、今年の3月末をもって閉店しました。集落の人口も減り、空き家は年々増えていきます。これまで地域の福祉事業の一環としてやってきましたが、集落の公民館ではなかなか地域の要望に応えることが出来なくなりました。

議員の皆さん、地域の老人福祉のためにもっと力を注いでくださるようお願いいたします。

安心安全な南九州市を

頴娃町　郡
石窪　美由樹

私は縁があり、頴娃の方と愛でたくゴールインしました。新婚生活は鹿児島市でのスタートでしたが、子どもが誕生してからは、旦那のふるさとの頴娃町での生活となりました。

美しい自然に囲まれて、のびのびと子育てを楽しんでいましたが、最近気になることは、やはり中国大陸からのPM2.5の飛来です。特に子どもの登下校時はとても気になります。PM2.5の濃度が鹿児島県内も高くなったと報道があれば親としては、どう対応していいのか？市はどう考えているのか？学校は…など色々と考えます。

先月は鹿児島市内で最後の遠足も予定変更でマスク着用というニュースを見て、外で思いっきり遊びたかったのではないかと思うと、同じ年頃の子を持つ親として残念でした。今後、子どもの身体に影響がないか不安に思うのは私だけでしょうか。

注意事項と言えば、不要不急の外出を減らすことや、呼吸器や循環器に疾患のある方は慎重に行動すること、と呼びかけをしていますが、それ以前に何か対策はないのでしょうか。

市民が安心安全に生活できるよう南九州市は、独自の測定を行い、市民に対して報告するなどの対策をしていただきたいと思います。

議会を傍聴してみませんか！

次の議会は6月18日開会予定

※手続き簡単　本館2階で住所・氏名を書くだけ

編集後記

3月定例会にて、25年度当初予算も可決され新年度が始まりました。

広域消防も指宿南九州消防組合となり、また茶銘柄統一に向けて茶業課もワンフロアー化されるなど、新たな政策に対して市民から多くの期待と要望が寄せられると思う。

議会だよりにおいては研修で学んだことを活かし、誰もが分かるような言葉を選び、より身近な存在となって、議員の役割を明確にして活性化していかなければならない。

誰もが手にして目を通していただけるような議会だよりの作成に努めたい。ぜひ、期待していただきたい。（吉永）

▼広報編集委員会
委員長　峯苫　勝範
副委員長　田畑浩一郎
委　員　亀甲　俊博
下窪　一輝
西　次雄
吉永　賢三